

★ 石川謙一(前主将)と

この県大会での収穫のひとつに、

石川謙一くんとの出会いがあった。

石川は今、学問の探求のため

体育会陸上部には属していない。

授業に集中し、試験を優先させたいからだ。

うちのOBの場合、そういったケースは稀ではない。

卒後どの程度、競技と関わっていくかは個々の設計があるので、

本人のさじかげんでやればよいと私は思う。

実はそれは高校時代から変わらないルールだ。

しかし私からすれば石川は幾度も関東を経験している

スーパースターなので、いささかもったいない気もするが……

卒業してみて、石川は感じたという。

「自分達は(高校時代)頑張ったんだなあ……と思いました。

高校にいるときは分からなかったんですが、いざ卒業するとそう感じます。

今は大学でこの学問を一生懸命やってみたいです。……」

そう将来の夢を語ってくれた。

私は「18歳なのに立派だなあ……」と感心してしまった。



さすが主将・石川。

後日、森丘は言っていた。

「石川のような才能あるマルチスプリンターは、大学(陸上)で大きくブレイクする可能性がある。・・・」

私は思った。「でもどの程度集中したいかは本人が決めるからね。高校時代やり尽したんだから満足なんじゃあないかね・・・。」

森丘は返す返すも「でも、惜しいですよ・・・」と口惜しそうであった。

まあ、競技研究者からみればそうなのだろう。

「まあ、我々も石川も同じファミリーなんだから、彼が20歳過ぎたら飲みたいね。」

「そうですね・・・」

私はそれが楽しみである。

